

第13期 決算公告

東京都江戸川区臨海町三丁目2番1号

株式会社ジェイ・エー・エー

代表取締役 安藤 之弘

貸借対照表

(2021年 3月 31日現在)

(単位：千円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	2,297,298	流動負債	683,877
現金及び預金	1,731,386	オークション借勘定	543,606
オークション貸勘定	507,917	未払金	87,142
商品	4,921	未払費用	3,436
貯蔵品	1,479	未払法人税等	950
前払費用	34,605	預り金	33,708
未収入金	15,266	賞与引当金	13,998
その他	2,145	その他	1,035
貸倒引当金	△ 424		
固定資産	10,152,978	固定負債	136,948
有形固定資産	6,818,451	繰延税金負債	1,838
建物	36,053	退職給付引当金	65,369
構築物	102,965	預り保証金	67,740
車両運搬具	4,467	資産除去債務	2,000
器具及び備品	192,483		
土地	6,482,481		
無形固定資産	104,056	負債合計	820,825
ソフトウェア	93,450	(純資産の部)	
その他	10,606	株主資本	11,629,451
投資その他の資産	3,230,471	資本金	100,000
関係会社株式	3,153,041	資本剰余金	1,600,000
破産更生債権等	1,444	資本準備金	1,600,000
長期前払費用	3,313	利益剰余金	9,929,451
前払年金費用	45,587	その他利益剰余金	9,929,451
差入保証金	20,685	繰越利益剰余金	9,929,451
投資不動産	7,515	(うち当期純損失)	(181,171)
その他	327		
貸倒引当金	△ 1,444		
		純資産合計	11,629,451
資産合計	12,450,277	負債純資産合計	12,450,277

重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準および評価方法

有価証券の評価基準および評価方法

子会社および関連会社株式

移動平均法に基づく原価法

たな卸資産の評価基準および評価方法

商品

個別法に基づく原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）

貯蔵品

最終仕入原価法に基づく原価法

(2) 減価償却資産の減価償却の方法

有形固定資産

定率法

ただし、1998年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）ならびに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備および構築物については定額法によっております。

無形固定資産（ソフトウェア）

社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。

(3) 引当金の計上基準

貸倒引当金

債権の貸倒による損失に備えるため、以下の方法により計上しております。

一般債権

貸倒実績率法

貸倒懸念債権および破産更生債権等

財務内容評価法

賞与引当金

従業員の賞与の支払に備えるため、支給見込額のうち当事業年度の負担額を計上しております。

退職給付引当金（前払年金費用）

従業員の退職金の支払に備えるため、当事業年度末における退職給付債務および年金資産の見込額に基づき計上しております。

(4) のれんの償却方法および償却期間

のれんは、その効果が及ぶ合理的な償却期間を見積り、10年間で均等償却をしております。

(5) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の処理方法

税抜方式を採用しております。